

西原東小学校改築基本計画（概要版）



校章の象徴

からだをきたえ 知性をみがき
強い心で 高くはばたけ
西原東の 良い子たち

令和7年 11月

西原町教育委員会

西原東小学校改築基本計画

現在の校舎は開校以降から増築を重ね、令和7年現在、当初の棟で築44年が経過しています。経年劣化に加え、建物接合部の雨漏りなどにより快適性が大きく損なわれています。このような現状を踏まえ、構造的な安全性の向上、設備の効率化、児童と教職員の満足度を向上させるための対策が求められています。

本計画では、施設の安全性や機能性を向上させるとともに、持続可能なデザインを採用し、地域住民や関係者の意見を取り入れ、地域に根差した新たな学びの空間の創出を目指します。

また事業方式についても、従来方式（設計・建設・運営を個別発注）に加え、PPP・PFI事業方式（公と民が協力して公共施設やサービスを民間の資金・技術で整備・運営する仕組み）についても検討を進めていきます。

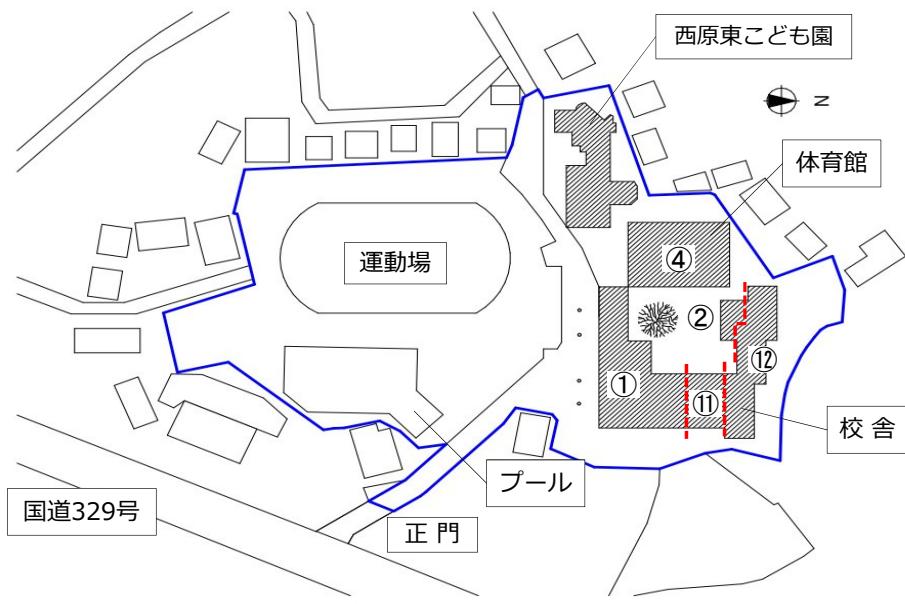
1. 西原東小学校の概要

児童数・教室数：児童総数は近年やや増加傾向（西原東小は約493→520人の推移）普通教室は概ね16～18室を維持、特別支援教室は増加中です。

既設建物：校舎（RC2～4階建）、体育館、プール（解体予定）、西原東こども園（移転予定）となっており、平成28年の耐力度調査では、一部の建物において安全上の課題が指摘されました。

インフラ：電力は屋内キュービクルで受電、給水は受水槽経由で供給されています。汚水は現状、下水道に接続されており、雨水排水は側溝へ放流しています。（※要敷地外流出対策）

動線と安全：国道側およびこども園側からの登下校ルートが確保されていますが、歩車分離が不十分な箇所があり、安全配慮が必要です。駐車場は職員利用を中心で、保護者は許可制となっています。



校舎①

: RC造2階建、 $1,224\text{m}^3$ (44年)

校舎⑪

: RC造4階建、 832m^3 (44年)

校舎⑫

: RC造4階建、 $2,183\text{m}^3$ (45年)

校舎②

: RC造4階建、 494m^3 (35年)

体育館④

: RC造2階建、 $1,049\text{m}^3$ (42年)

※建物名称 棟番号

構造・階数・延べ面積（築年数）

※建て替え対象は、校舎、体育館となっており、プールは解体予定、西原東こども園は移転予定となっています。いずれの建物も築年数が約40年以上経過しており、建物に劣化がみられます。

2. アンケート調査と関係者ヒアリング

アンケート実施：保護者・教職員・地域の方（278件の回答）および児童（127件の回答）より、現施設に対する意見が多数寄せられました。特にトイレ、教室、体育館への不満が目立ち、新校舎には「明るさ・開放感」「安全性」「ICT・多目的空間」「郷土文化の表現」「防災機能」等への期待が強いことが分かりました。

ヒアリング実施：西原東小学校関係者、西原東こども園関係者

検討委員会実施：検討委員会を開催し、関係者による幅広い意見交換を実施しました。

1 / 4 ページ

新しい西原東小学校づくりのためのアンケート
～調査ご協力のお願い～

西原町教育委員会では、西原東小学校の校舎などの老朽化を踏まえ、改築を基本とした施設整備を検討しています。このたびより良い学校施設を実現するため、職員の皆さま、保護者の皆さま、地域の皆さまから幅広いご意見をお伺いいたく、本アンケート調査を実施することになりました。

どうお願い申し上げます。

いいいたします。

いいいだします。

5代以上

不満 Ⓟ 非常に不満

ル Ⓡ 音楽室 Ⓡ 家庭科室
⑩ トイレ Ⓡ 職員室

1 / 2 ページ

西原東小学校在校生のみなさんへ
～新しい西原東小学校づくりのためのアンケート～

西原町教育委員会では、歴史ある西原東小学校の建替えを計画するにあたり、在校生の皆さんから、学校の魅力や残してほしいもの、そして新しい学校へのご希望をお聞きしたいと考えています。
下級生たちのためにより良い学校づくりを目指すため、アンケートへのご協力ををお願いいたします。

令和7年5月15日（木曜日）までに担任の先生に提出をお願いします。

1. 学校の魅力について（あてはまるもの3つに○をつけてください）
あなたが学校で「一番好きな場所」はどこですか？その理由もおしえてください。

3. マインドマップ

各関係機関ヒアリング及びアンケート調査による視点や意見課題を整理し、**マインドマップ**として可視化しました。



4. 基本方針の決定及びコンセプトの決定

ヒアリングやアンケート調査結果をもとにマインドマップを作成し、検討委員会での意見交換や社会的背景、地域課題を踏まえて基本方針を決定しました。

基　本　方　針

文教のまち 西原

～人がかがやき 自然豊か 文化かおる 平和創造のまち～

学校、家庭、地域が連携（協働）し、子どもたちが安心して学び、自己の可能性を最大限に引き出せる教育環境を整備します。また、多様性と公平性を重視したインクルーシブ教育を推進し、教師が働きやすい環境を整えることで、教育の質の向上を目指します。

さらに、地域の歴史や伝統を尊重し、郷土文化を次世代に継承します。

学校、家庭、地域が相互の連携

学校、家庭、そして地域社会が協力し合い、こどもたちの教育環境を整えることで、より豊かな成長を支える枠組みを強化する。

自ら学ぶ意欲の高揚

こどもたちが主体的に学びに取り組む意欲を育てるためのプログラムや環境を整備する。

インクルーシブ教育

全てのこどもが互いの多様性を認め合いながら、個別最適な学びと協働的な学びが実現する環境を整える。

教師が働きやすい環境

教師が負担なく教育活動に専念できるよう、労働環境を整え教育の質の向上につなげる。

郷土文化の継承

沖縄の歴史や文化を次世代に伝える取り組みを通じて、地域固有の伝統や価値観を大切にし、アイデンティティの醸成を図る。

基本方針をふまえ、小学校が育むべき未来像を形にするためのコンセプトを以下にまとめました。

① 開かれた学校

学習支援や地域交流を通じて相互の学びを促す場として学校を整備します。ゾーニングにより安全性を確保し、教職員が児童や来訪者の動きを把握しやすい配置で、安心して利用できる環境を実現します。

② 地域連携室

地域連携室は、学校と地域が協働する拠点で、住民や団体が自由に利用可能。子育て支援や世代間交流、防災時の避難施設としても機能し、児童の安全と地域のつながりを育みます。

③ くすのき広場

「くすのき広場」は校木を象徴とする中庭で、児童の学習や交流、保護者の待機場所として活用。今後もその機能を継承し、憩いと避難スペースの両面で児童に安心を提供する場として整備します。

④ 近隣への配慮

学校施設は隣地から10m程度離して配置し、騒音・日照・プライバシーに配慮。地域と調和した空間づくりを行い、イベント等の情報共有を通じて良好な関係を築き、持続可能な教育環境を目指します。

⑤ ICT環境の充実

児童の主体的な学びを支えるためICT環境を整備。机や収納に配慮した教室レイアウトで端末活用を促進し、校内全域の接続性と教員の指導支援体制を整え、学習の質と効率向上を図ります。

⑥ 明るくきれいなトイレ

トイレは自然採光を取り入れた明るく清潔な空間とし、十分なスペースで快適性とプライバシーを確保。多様性に配慮したユニバーサル設計で、誰もが安心して使える環境を整えます。

⑦ 車両と人の動線分離・駐車台数

児童の安全を最優先に、車両と歩行者の動線を分離。正門と裏門の動線を分析し交差を抑制。通学路の視認性や出入口の配置に配慮し、駐車台数も確保して安心・快適な通学環境を整えます。

⑧ 東小学校区域の郷土文化の表現

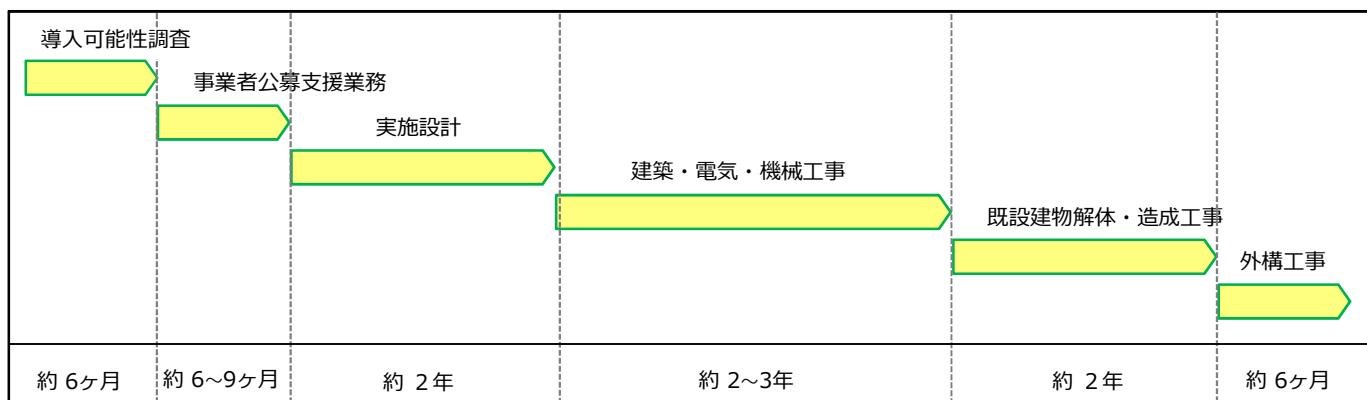
西原東小学校区域の歴史や文化的背景を踏まえ、地域の文化と教育環境の調和をはかります。伝統や地域の知恵を児童の生活・学習に取り入れることで、地域とのつながりを育み、自覚を持てる教育環境を整備します。

5. 今後の流れ

PPP・PFI事業方式の採用についても検討することを踏まえ、今後は具体的な事業内容の詳細検討に着手する方針です。設計・施工・運営の各側面において、事業の円滑な遂行と地域のニーズに応えるための戦略を構築し、効率的で持続可能な西原東小学校建替工事を目指します。※各事業方式の特徴を下記に示す。

事業方式	概要	メリット	デメリット	適用条件	リスク分担
従来方式 (直接建設)	公共が設計・建設・運営を個別発注	<ul style="list-style-type: none">行政の管理が容易従来の発注方式で実績豊富	<ul style="list-style-type: none">ライフサイクルコストの最適化が困難各段階の連携が取りにくい	<ul style="list-style-type: none">小規模案件特殊性の高い施設	公共側が(ほぼ全て)のリスクを負担
DBO方式 (Design Build Operate)	設計・施工・運営を一括発注	<ul style="list-style-type: none">ライフサイクルコストの最適化運営を見据えた設計・施工	<ul style="list-style-type: none">資金調達は公共長期契約による硬直性	<ul style="list-style-type: none">運営ノウハウの活用が重要な施設一定規模以上の案件	設計・施工・運営リスク→民間 資金調達リスク→公共
BTO方式 (Build Transfer Operate)	民間が建設後、所有権を公共に移転し運営	<ul style="list-style-type: none">民間の資金調達による財政負担の平準化施設整備の早期実現	<ul style="list-style-type: none">金利コストの上乗せ契約の複雑化	<ul style="list-style-type: none">収益性のある施設中・大規模案件	設計・施工・運営・資金調達リスクを民間が負担

事業スケジュールイメージ（PPP・PFI事業方式の採用／仮設校舎を建築せずに、運動場に校舎を建てた場合）



西原東小学校 校歌

作詞 親泊輝昌
作曲 仲村透

しののめ明けて朝の陽の

西原平野に堂々と

自主創造の旗かかげ

雄々しく立てる校舎あり

これぞ我等の学びの舎

ああ晴れ晴れと 東校

二 花と緑に囲まれた

学びの庭にすくすくと

伸びゆく校木楠は

我らの理想そのままに

永久に栄えゆく姿あり

ああ清らかに 東校

三 前にそびえる運玉を

後ろに見える琉大を

仰ぎながめて先人の

大きな夢を想いつつ

共に学ぼうわが友よ

ああ逞しく 東校



西原東小学校 校木くすのき

西原東小学校改築基本計画（概要版）

発行日 令和 7年11月

発 行 西原町教育委員会 教育部 教育総務課

沖縄県中頭郡西原町字与那城140番地の1

TEL 098-945-3655